

施術効果の評価表

(表 2 腰・下肢の評価)

(傷病部位名)

(評価日 . .)

区分	内容	具体的内容	評価
日常生活動作 0 不能 1 困難 2 容易	起居動作		
	移動動作		
	行為動作		
	その他		
痛み	なし		
	軽度 (不定期、時々痛み)		
	中等度 (動作時常に痛み)		
	強度 (動作時常に強い痛み)		
	激度 (持続的自発痛)		

(注) 「具体的内容」欄には、被施術者の日常生活動作に応じた具体的内容 (例えば食事においてははしを持つ、スプーンを持つ等) を記入すること。

なお、 ~ 以外の基準を持って評価を行う場合は、評価に用いた基準 (日本整形外科学会又は日本リハビリテーション学会の評価法名) を 欄に明記し、評価を行い評価結果を添付すること。

「評価」欄には、0 不能 ・ 1 困難 ・ 2 容易 に区分し判定すること。

「痛み」欄には、本人の主訴を含めた評価時の状況について該当するものに 印を付けること。

具体的内容の例

- 起居動作・・・布団から起き上がる、椅子に腰掛ける、正座を行う、しゃがみこむ・・・等
- 移動動作・・・ゆっくり歩く、走る、階段を昇る (降りる)・・・等
- 行為動作・・・足の指の爪を切る、荷物を持ち運ぶ・・・等

以上の通り評価します

平成 年 月 日

病院 診療所

医師

印